

2020年11月

「コロナ 5.0 プロジェクト」

COPD 患者を発見し、新型コロナウイルス感染症の重症化を防止する取り組みを開始

一般社団法人クリーンエアは、行政や医療機関、企業と連携し、新型コロナウイルス感染症の重症化を防止する取り組み「コロナ 5.0 プロジェクト」を開始します。

●活動内容

基礎疾患を持つ人は新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高いことが明らかになっており、特に COPD (慢性閉塞肺疾患) 患者は、“最大で 5 倍” 重症化リスクが高いと報告されています。しかし、COPD は「発症に気づきにくい」「治療離脱者が多い」といった理由から患者が治療に結びついていないという課題を抱えており、潜在患者数は 500 万人を超えているにも関わらず、1 割程度しか治療を受けていない状況です。クリーンエアは、新型コロナウイルス感染症の重症化防止対策として、行政や医療機関、企業と連携しハイリスク者である COPD 患者を発見し治療を開始させる活動を始動します。企業規模、地域規模で対策の検証を行い、成果を取りまとめて国や行政に提言することで、「COPD の発見により COVID-19 の重症化が防止される環境」を全国的に整備することを目指します。

コロナ5.0プロジェクトのCOVID-19重症化予防対策の特徴



潜在的COPD患者の発見

企業の持つ健康データやスクリーニング
質問票を活用してハイリスク者を特定



病院への受診勧奨

ハガキや声かけで、ハイリスク者に
診察・治療を受けれる病院を紹介



診察・治療

プロジェクト連携病院で
COPDの診断・治療の開始

●一般社団法人クリーンエアについて

呼吸器の専門団体であるクリーンエアは、増加傾向にある呼吸器疾患に歯止めをかけるため、行政や企業と連携し、生活環境を整備および予防知識を啓発する活動を行っています。

一般社団法人クリーンエア [東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際クリニック B1F]

TEL : 03-6457-9898 Mail : info@cleanair.or.jp WEB: cleanair.or.jp